

平成 30 年度 東郷町図書館協議会会議録

1 開催日時

平成 30 年 7 月 12 日（木）午後 2 時から午後 3 時 15 分まで

2 開催場所

東郷町民会館 1 階 第 2 会議室

3 出席委員

水野和恵(学識経験者)、山田逸子(学識経験者)、野々山清子(社会教育委員会代表)、

武田光史(小学校校長代表)、箕浦昭博(中学校校長代表)、

南谷万由美(保育園代表・清水昌江の代理)、

近藤浩子(児童館代表・林ひろみの代理)

4 事務局

生涯学習課 課長、主査

5 指定管理者

東郷町施設サービス株式会社 代表取締役社長、図書館長、副館長、図書館担当

6 傍聴者

1 名

7 会議内容

(1) 辞令交付

(2) あいさつ

(3) 議題

ア 平成 29 年度 図書館事業実績報告について

イ 平成 30 年度 図書館の運営について

(4) その他

8 会議記録

別紙のとおり

会議の内容

1 辞令交付

2 あいさつ(委員長)

2年目の委嘱ということで、メンバーにも少し変更があったが、忌憚のないご意見をお願いしたい。

3 議事内容

(1) 平成 29 年度 図書館事業実績報告について

※会議資料 1 に基づき説明。

【質疑等】

委員 利用者について、年代別の分布や、貸し出した利用者数及び貸し出しを伴わない利用者数の把握など、細かく分析はしているか。そういう分析から、今年度の対策などを検討できるのでは。

館長 利用者については、年代別等の細かい数値は出ていない。職員の感覚的などころからは、入館される方、貸し出しを利用する方は常連が多く、お子さんを連れてきた方や、中高年の方が中心。

10～30代の方の利用は非常に少ないため、この世代にも利用してもらいたい。土日や夏休み等は、お子さんの利用も多い。

なんとか利用者数を伸ばすことができるよう、手を打っていきたい。

委員 地区のコミュニティセンターをよく利用する。そこで会う方々は、本は好きだが図書館まではなかなか行けない、という方が多い。量は多くなくてよいので、コミュニティセンターまで本を配達してもらうことはできないか。

社長 本の管理を誰が行うのか、運搬に係る費用はどうするのか、など、町との協議が必要であり難しいが、図書館で不用となった本を活用するのも一つの方法かもしれない。

館長 お近くで読める環境を、というお気持ちはよくわかる。ご要望については検討していきたいが、貸出し、返却の手続き、運搬の手続きなどなかなか難しい。

委員 近隣は新しい図書館ができてうらやましい。要望のひとつとして、無理なことはわかっているが、一つも声を出さないのもいけないと思うので、できるだけ新しい図書館をつくってもらいたい、という要望をお伝えしておく。

委員長 利用者数が増えて、みんながレベルアップしていく、という方向性からすると、コミュニティセンターの分館等、これからの課題ではないかと思う。それぞれの区長さんたちも巻き込んでとなると、難しいこととは思いますが、本に触れるという図書館の目的を達成していこう、という新しい方向性であり、機会があればぜひお願いしたい。

図書館は小さい子どもを連れての利用が多いそうだが、保育園や児童館において、小さいお子さんたちと本との関わりはどのような状況か。

委員 保育園では、いろいろな施設や関係団体とコミュニケーションをとるといことで、徒歩やバスで遠足の時などに図書館を利用している。もっと子ども達にも、図書館には本がいっぱいあることや、こういう場所がある、ということ伝えていかなければいけない、と感じた。

また、保護者によって「本に親しむ」ということが極端であると感じている。すごく本を取り入れている家庭もあれば、絵本から遠のいていたり、キャラクターや戦隊もの、ゲームの本などを絵本と思う保護者もいる。先日絵本の研修を受けたが、絵本からイメージが膨らんで想像力が育つ、ということ伝えていかなければならないし、それが、図書館を利用するきっかけになればよい。

保育園の子ども達は、あまり広いところではなく、これくらいの規模のところゆったりと本を読むことがいいと思うので、もう少し利用の機会を増やしていけたら、と思う。また保護者にも図書館のことを伝えていきたい。いつも図書館だよりも掲示しているが、掲示だけではなく、お知らせもしていけたら、と思う。

委員長 ぜひ保護者にもPRしてほしい。

委員 中部児童館では、定期的に行きたい子を募って図書館へ連れて行っている。多いときは十数名連れていく。近いから歩いて行けて、とてもいい機会だが、図書館に行く子は同じ子が多いため、どんだん声をかけて、広く利用してもらえるようにしていきたい。

委員長 小学校だとバスに乗って図書館見学などもあると思うが、見学後はどのような感じか。

委員 3年生で町バスを借りて、町内の施設見学に行く。事前に名簿を送っておいて貸出しカードを作ってもらうが、本校の位置からすると、子どもだけで図書館を利用することは難しい。そのため、保護者に送ってもらうことになるが、土日は駐車場がいっぱいで、なかなか車がとめられないと、保護者も足を運ぶのが億劫になってしまうのではないかと感じている。

本が好きな子は、学校の図書館で借りて読んでいるし、そうでない子は、習い事などでなかなか時間が取れず、図書館の利用増につながるの難しいかな、と思っている。

ただ、高学年の図書委員が低学年に読み聞かせを行っている姿を見ると、可能性を感じる。

委員長 それぞれの立場で御尽力いただいている。

委員 先ほど、分館、というご意見が出てきたが、いこまい館は小さな子を連れた方の利用が多いイメージがある。図書館と距離は近いが、なかなか図書館まで足を運ぶことができないと思うので、いこまい館に小さなお子さん向けの絵本などを置いて、分館のような形で貸出しできないか。

館長 いこまい館の2階につどいの広場があり、小さな子を連れた方の利用が多いのは承知している。

図書館で不用になったリサイクル本の中で、子育て関係や児童書等は、優先的につどいの広場の読書コーナーに置くようにしているが、通常の貸出し用の本を置くまでには至っていない。貸出しを行うには、貸し出し機等の機器の整備が必要で、実現に至っていない。

利用促進にうまく活用したいが、なかなか難しい。

社長 東郷町は施設が1か所に集まっているのが特徴。いこまい館に図書館の職員が出向いて、まずは図書館を利用してもらうよう、PRに努めている。

また、4月からいこまい館にシニアハウスができたため、そちらにもPRをしている。今は、図書館の本を他所へ持っていくのではなく、図書館に来てもらうように働きかけている。

※平成29年度 図書館事業実績報告については、承認された。

(2) 平成30年度 図書館の運営について

館長 会議資料2に基づき説明

【質疑等】

委員長 図書館は、町民会館の3階という立地条件や老朽化、限られたスペースという、足を運びにくい状況だが、いろいろと工夫をいただいている。

委員 東郷町の図書館は、他の図書館に比べ、カウンター職員がとても親切である。これは図書館の誇りのひとつ。

ところで、受賞した本は何冊くらい購入しているのか。

館長 多くて3冊購入する。

委員 以前、本の予約をしたら、6か月待たされたことがあった。あまりにも長かったので、予約したことを忘れて購入してしまった。

社長 図書館がどの程度本を用意すべきなのかは難しいところ。本を購入してもらわないと、作家の収入が無くなってしまい、良い本が出版されなくなってしまう。

館長 課題図書は、学年で異なるが、最大7冊購入している。民間の本屋が運営している図書館では、本屋を併設して本の販売をしているところもある。

委員 有名声優が文豪の本を朗読したCDがあるが、それぞれの作品時間を同じにするためか、文章を部分的に抜いているものがあるため、購入する際は試聴するなどして、注意して購入したほうがよい。

館長 気を付けて購入したい。

委員 小中学校の図書館に、司書教諭補助が派遣されているが、司書資格を持っていらっしゃる方もみえる。本の修理方法や分類の仕方がわからない方も多いため、そういう方たちに講習会を行っていただくことは可能か。

社長 材料費や人件費等かかるため、すぐに返事はできないが、図書館と小中学校の図書館との連携は大切であるため、検討していきたい。

※平成30年度 図書館の運営については、承認された。

4 その他 特になし。